

令和4年度第3回学区制審議会会議録

■会議の日時：令和5年2月1日 14時から15時50分

■場所：瑞浪市総合文化センター 3階 講堂

■出席者：学区制審議会委員：

成重隆志、小倉弘次、安藤昇、水野正、加藤博一、渡邊勝、
早瀬邦夫、水野勝人、小栗健正、加藤博之、永井研、熊沢紀子、
加知岳志、藤田瑞穂、水向裕樹、薄井義彦、堀部なを、
成瀬広之、黒沢実

欠席者：安藤裕子、白井美絵、石田和生、遠藤晶子、堀幸恵

事務局：伊藤慶和教育長、林恵治事務局長、

滝川直樹事務次長兼学校教育課長、兼松美昭教育総務課長、
堀田奈々学校教育課課長補佐兼教育支援係長、
山崎美和教育総務課課長補佐兼総務係長

■議事：

1. 教育長あいさつ

本日は、公私ともご多用な中、第3回瑞浪市学区制審議会にご出席いただきまして、有り難うございます。

18日に陶幼稚園にお邪魔して、3・4・5歳児の保護者の方々に複式学級に関する説明をしました。そのときの内容などにつきましては、後ほど説明いたします。授業風景を見て、説明を聞くことで、理解が深まった、不安が解消されたという意見を多くいただきました。大変有意義な説明会となりました。

3月2日に竜吟幼稚園にお邪魔して保護者の方に説明をさせていただく予定です。まだ調整ができていませんが、日吉幼稚園の保護者の方にも説明をしていきたいと考えています。

また、1月26日には、市長さんと教育委員の意見交換の場として、総合教育会議を開催しました。この中で、学区制審議会の状況につきまして、情報共有のため、審議内容の報告をさせていただきました。特に市長さんには、市としての地域振興、人口対策の取組を進めてほしいとのご意見についてもお伝えさせていただきました。

市長さんからは現在策定中の第7次総合計画の中で、引き続き地域活性化対策や、人口減少対策について課題ととらえ、取り組んでいくという話をいただきました。

また、各地域の地域課題を解消するため、まちづくり協議会を中心に地

域計画を策定することも、市として支援していくとのことでした。市と連携した各地域での少子化対策、移住定住の取組など検討していただき、是非取り組んでいただけるようお願いしたいということでした。

本日は、本年度最後の審議会となります。限られた時間ですが小学校について、方向を出していただければと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

2. 会長あいさつ

皆様、改めましてこんにちは。皆様、寒い中、お忙しい中ご参集いただきまして、有り難うございます。

第2回の会議で、複式学級について事務局側から詳しく説明をいただきました。また、川上小学校の中山校長先生から実際の複式の様子を見せていただき、説明をしていただきました。多くの方が今まで複式を経験していない中、認識が深まったと思っています。その後、小学校について意見交換を進めてまいりましたが、今回の会議で引き続き皆さんの意見をいただき、小学校についての意見をまとめたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

事務局：

本日の会議は、委員24名中19名の出席で、開催要件を満たしていることをご報告します。

それでは、これより加藤会長に議事の進行をお願いします。

3. 議事

(1) 幼稚園での複式学級の説明及びアンケート結果について事務局より一括説明。

(2) 意見交換

議長：

有り難うございました。

事務局説明への質問等も含めて、ここから意見交換としたいと思います。陶幼稚園での説明により保護者の理解が深まり、アンケート結果では68%の方が陶小学校に通わせたいとの結果が出ているとのことでした。

陶幼稚園の保護者会長さんも参加をされていますので、説明会の様子や保護者の受け止め方など、ご紹介いただけますでしょうか。

委員：

複式学級説明を聞く前は、不安だったと思います。

説明を聞いて、その後に質問する時間があり、質問に対して丁寧に答えていただけだったので、個人差はあると思いますが、不安がたいへん解消されたと思いますので、開いていただいて良かったと思いました。

複式学級の詳しい話になっていくと、もっとあると思いますので、今後、順番に準備されていく中で、2回目、3回目の説明会を開いていただいて教えていただけると、その都度不安解消されるのではと思いました。

議長：

今回は対象が陶幼稚園のみでしたが、次回竜吟幼稚園、日吉幼稚園もありますが、陶ということで、この結果を含めて陶町連合自治会長さん、前回お休みで、川上小学校の授業の様子はおわかりにならないかもしれませんが、今日のアンケートの結果などを踏まえてご意見をいただければと思います。

委員：

資料を見させていただきましたが、陶は概ね複式でもよいという方向です。陶町としましては、「小学校だけは絶対になくさない」という町民の願いですので、是非実現させていただきたい。

アンケートをみると「問4説明を受けた上で複式学級となった場合どう思うか。」で「わからない」という人が約3割みえます。この人たちにどのように説明していくかということがこれからの大きな課題だと思いますが、陶町としましては、「陶の小学校は複式でもやる」という方向でお願いしたい。

議長：

アンケートの中で「わからない」というところで、捉え方が2つあると思います。「実際にやってみないとわからない」と「説明がまだまだ不足していてわからない」があると思いますが、「支障があり統合等が必要」という方は1人のみで、概ね複式学級になった場合でも受け入れていかれるという結果だと思います。

後日、竜吟幼稚園でも説明会があるという説明でしたが、陶幼稚園の結果保護者の方の今までの反応等を踏まえて、竜吟幼稚園保護者会長さんにもご意見をうかがいたいと思います。

委員：

陶幼稚園の説明会後の感想を見ると、説明していただいて保護者の方が理解を深められ少し安心したということがあるので、釜戸の方でも丁寧に説明していただければ、保護者の不安が多少でも解消していくと思います。

説明会の中で統合した時のメリット・デメリットについては説明されていますか。

事務局：

今回は、複式学級についての説明を中心にしていましたので、説明会の中で統合した時のメリット・デメリットについては説明していません。

委員：

今回、釜戸で説明していただける時も複式学級に重きを置いて保護者の皆さんに説明していただけるとと思いますので、よろしくお願いします。

議長：

説明会の時間の都合もあるかと思いますが、複式学級だけの説明に終わらず、統合をした場合についても時間の許す限り説明を入れていただければと思います。

その他団体でこの資料についての意見・質問等があればいただきたいと思います。

日吉区長会長さんいかがでしょうか。

委員：

幼稚園の保護者への説明についておききしましたが、小学校の保護者にはこれからされますか。

事務局：

まず、複式学級の対象となるお子さんのいるところを中心に考えております。学区制についての説明は要請があれば考えていきたいと考えています。

委員：

日吉は、保護者立場の審議委員がないので、できれば保護者の方にしっかり説明していただきたい。

議長：

日吉幼稚園の説明が3月までに難しいとのことでしたが、日程的に難しいと

ということですか。

事務局：

保護者の方が集まる行事に重ねて行いたいと思っていましたので、調整が取れませんでした。

議長：

対象となる幼稚園の保護者説明会が、年度を越してしまうということですが、年度内に保護者を集めて説明会を開いた方がいいのか、日吉の区長会長さんのご意見はいかがでしょうか。

委員：

そのためだけに集まるのは難しいと思います。

例えば、小学校の授業参観等に来ていただければと思います。

議長：

事務局は、そういう行動日程で対処をお願いします。

竜吟幼稚園の園長さん、ご意見はいかがでしょうか。

委員：

3月に保護者に説明していただけると保護者の方の理解が深まると思います。

それぞれ質問されることも違うと思いますので、丁寧に答えていただければ、より一層理解が深まると思います。

幼稚園では、既に一緒に1クラスの中で生活していて、その中で不満や不安という意見は聞いたことはありませんが、小学校に上がり勉強の時間も関わってくると保護者の方も色々心配もされると思うので、そういうところまで丁寧に説明していただけると有り難いと思います。

議長：

3月に行われる竜吟幼稚園の説明会で、保護者の方が十分理解できるような丁寧な説明をよろしくをお願いします。

今回の資料はあくまで陶幼稚園での結果ですが、直接複式学級となる状況に直面される幼稚園の保護者の方々が、教育委員会から直接説明を受け、複式学級に関して理解が深まり、それにより、多くの方が、不安があるものの、陶小学校に通わせたいというご意向を示されているわけです。他の幼稚園において

も同様に丁寧な説明を行うことで、同様の結果が出るのではと考えられます。

事務局にお聞きしますが、最初の説明により、令和7年度より複式学級が出現するとのことですが、今回、仮に学校統合などが必要という結果となった場合に、複式学級の出現する年度に間に合うものでしょうか。

事務局：

学校統合となれば、前回の中学校統合の際にも答申を受け、市の方針を策定し、地域への説明会等の実施、通学方法の検討や校名などの新学校開校に向けた準備に瑞浪南中学校で6年の期間を要しています。複式学級の出現する令和7年度に統合を行うことは困難だと考え、一旦は複式学級となると考えています。

議長：

事務局の考えとしては、一旦は複式になるとのことですが、市P連としてはいかがでしょうか。

委員：

複式学級に関しては、前回の資料のアンケート結果の中でも地区によりバラつきはみられるものの、全体では現状維持と解消すべきとのご意見が半々という状況でした。メリット・デメリット双方あり、実際にどうなのかということは、始まってみないとわからないことが多分にあるかと思います。

複式学級というものがよくわからず、不安を持たれた方も多いかと思います。一旦は複式学級となるということであれば、丁寧に保護者の方へ説明し、不安を解消していただくようお願いしたいです。

議長：

個人的には複式学級で大丈夫というお考えでしょうか。

委員：

はい。

議長：

今回初めて、この審議会を開催することで、複式学級が市内で出現するということが公に示され、検討されることとなったわけです。これについて、保護者の方や地域のみなさんが、どうすべきという考えをはっきり持っている状況ではないと思います。

複式学級が実際始まり、子どもたちの教育環境がどうなっていくのか、検証していく中で、保護者の方々から複式では困るという声が大きくなれば当然検討しなければならないと思います。そういった声を拾っていく必要があると思いますが、教育現場を預かる校長先生のご意見はいかがでしょうか。

委員：

アンケートの結果を見せていただき、「わからない」が28%、実際やってみないとわからないと書いています。メリット・デメリットもありますので、実際に始まって授業の様子を見てもらいながら、保護者のみなさんや地域のみなさんの意見を拾いあげながら検討していくといいと思います。

保護者のみなさんは、年間に複数回の授業参観があります。授業参観の折には通常学級懇談会が位置づいていますので、その機会に子どもの様子を見ていただき、保護者のみなさんから意見を聞くことが可能ではないかと思います。

地域のみなさんにおきましても、学校の行事等に参加いただきながらご意見をいただくことができますと思いますし、近年では、地域とともにある学校を目指し、市内全ての小中学校がコミュニティ・スクールの導入を進めています。各学校に学校運営協議会を立ち上げ、区長会やまちづくり協議会など地域の代表の方々、PTA、主任児童委員などの皆さんにご参加いただいています。この学校運営協議会の機会に、保護者や地域のみなさんに授業の様子などをご覧いただき、教育委員会より、将来的な児童数の推移など情報提供していく中で意見を出していただく、といったことは可能ではないかと思います。

議長：

PTA委員いかがでしょうか。

委員：

保護者の立場から申し上げても、保護者と地域の方々が一緒に各地域の学校単位で継続的に考えていくことは必要だと思います。

市P連としましても、保護者の意見を集約できるよう、教育委員会には今後とも保護者に向けた情報提供、説明を行っていただきたいです。

議長：

学校とPTAが一体となって取り組んでいくという体制で今後も進めていただきたいと思います。

小学校について、現状のままですと令和7年度には複式学級となるわけです。各学校において、実際の複式学級について、実際の運営を見ながら継続的

に意見を出し合っていたくとして、今回の学区制審議会においては、小学校に関しては当面複式学級となっても現状の7校でやっていくという方向としてとりまとめたかどうかと思います。

これについて、ご意見あれば、いかがでしょうか。

委員：

どうしても複式学級が嫌なお子さんに対して、例えば瑞浪小学校や土岐小学校に転校するという方法はありますか。ありませんか。

事務局：

居住している区域にある学校に通うことが原則になっています。家庭の都合等市教委で特に認められたものについては許可がおりることがあります。

委員：

原則論でなくこの場合で、どうしても複式学級が嫌だとお子さんや保護者の方が言われたらどのような対応ができますか。根拠として弱いですか。瑞浪の教育の平等性についてどうお考えですか。

事務局：

そのような意見があった場合には検討が必要だと思います。

委員：

検討するのですね。

事務局：

そのような場合はどうするかということを考えていきたいと思います。

事務局：

市内の教育の平等性については、当然確保していく必要があると思いますので、複式学級になっても確かな学力はしっかりと定着していくような手立てを教育委員会としても最大限取っていきたいと思っていますし、前回の陶幼稚園でもそういう説明をさせていただきました。できる限り平等を確保していく思いでいます。

委員：

瑞浪地区は複式学級になる心配はありませんが、該当の3地区について、地

元に小学校を残して欲しいということが絶対的な問題です。しかし、保護者としては、複式学級になって学力が落ちることがあっては困ります。そこは教育委員会がどこまで手厚くしていただけるかというところが一番大きな問題だと思います。

どうしても複式が嫌だという方があった場合の対応策についても、その時その時では遅いと思いますので、きちんと教育委員会で対応策を考えていただきたいと思います。

事務局：

しっかりと考えていきたいと思っています。

議長：

釜戸地区の区長さんは、当事者となりますがご意見はいかがでしょう。

委員：

説明資料のキーワード(わたり・ずらし)が大切な部分になると思いますので、瑞浪市はこのキーワードに沿った授業形態になると思います。子どもたちの教育環境は大事ですので、そういった体制でやっていただければいいと思いますが、川上小学校については授業の割り振りなど、更にしっかりとした対応を試してみえると思います。国の基準ではなく、市単独でもいいからしっかりとこういうことをやるという前提でのアンケートの回答なのか疑問です。授業の割り振りもしっかりやっていただけるといいと思います。

中学校になれば、同じ中学校に通いますので、幼稚園や小学校での交流をしっかりやっていただくといいと思いました。

複式学級で進めるということであれば、川上小学校のように国の基準より対応する、他のところよりいいという説明も必要でしょうし、交流活動をしっかりしていくという部分があるといいと思いました。

議長：

複式学級ですと通常わたりの授業で、1人の先生が2学年持つということですが、川上小学校の場合をみると、実際わたりで授業するのは数少なく、市が採用するのか補充があるのかわかりませんが、多くの授業をそれぞれ単独で行うことも可能だと思います。その辺は、市も大変だとは思いますが、予算を付けていただいてわたりばかりの決められた規程の中だけでなく、十分な教育ができるようお願いしたいと思います。

事務局：

県もできる限り複式を解消する方向で、加配がいただけるようですので、十分活用しながら、できる限り別れた形で授業を行えるように進めていきたいと思っています。色々難しい問題も出てくるかもしれませんが、その時には、2学年一緒に授業をする場合が出てくるかもしれません。例えば、音楽や体育など人数が多い方が力のつく教科については進めていけばいいと思っています。教育委員会としては、予算の問題もありますが、できる限り対応していけるように努力していくつもりでいます。

議長：

陶の区長会長さんは、絶対に小学校を残して欲しいとのことでしたが、釜戸の区長会長さんは個人的にはどうお考えですか。

委員：

個人的に言えば、学校はあって欲しいと思います。

議長：

該当地区の区長さんは同意見だと思います。

議長

これまでの特に区長会の皆さんから、いただいたご意見の中で、教育委員会だけの問題にとらえず、市としての地域振興施策、人口減少対策について求める意見をいただいています。これについてですが、教育長さんの最初の挨拶で触れていただきました。

小学校の複式、中学校の単学級について、当然地域の子どもの数が増えればそれが一番の解決策といえると思います。しかし、日本全体での少子高齢化、人口減少が進む中、これもなかなか難しい状況もあるかと思っています。

市としても総合計画に位置付け引き続き人口対策を行っていくとのことですが、それと合わせて、地域計画の策定を支援していくとのご紹介がありましたが、これはどういったものか説明をお願いしたいと思います。

事務局：

まちづくりや地域活動について、各地区で人口減少や活動の担い手不足、新たな事業のアイデアが生まれにくいといった課題があげられています。各地域において継続的な地域活動を行っていくため、地域がそれぞれの実情を把握し、課題解消のための長期的な事業計画を策定していただくものです。

令和5年度に各地区で策定をいただくよう、市より各地区にお願いをしており、市民協働課が策定を支援していくこととなっております。

議長：

前回の会議の中で、日吉町では空き家対策など地域での対策をはじめられたところのご紹介がありました。大湫町では移住定住の取組をはじめられて成果を出されているともうかがっています。こういった取り組みがそれぞれの地域計画に盛り込まれることになるということですね。

他地区でも検討されているのでしょうか。

委員：

大湫は、未来総合計画を2年前につくりました。これを基に来年度計画していきますが、2年の間に大杉が倒れたり、コロナの感染がありなかなか活動ができませんでしたが、2年間を振り返り、今の進み具合を確認しながら、次の年に何をやらなければいけないか、5年後に何をやらなければいけないかを見直していく活動をしています。これを市民協働課は全地域に展開していく予定だと思います。

議長：

大湫で2年前から策定されて進んでいるものをモデルとして、地域計画の策定をしていくということですか。

事務局：

おっしゃるとおりです。大湫町で独自に計画を作られて進めてみえますので、参考にさせていただいて、他の地区でも地域計画を策定していく、その中で市民協働課がしっかりと支援させていただくということです。

議長：

今、区長会長さんからご紹介いただきましたが、区長会かまちづくりかどちらですか。

事務局：

まちづくり推進組織中心になると市民協働課では考えています。区長会長さんにもお話をさせていただいています。

議長：

稲津もまちづくり活動を頑張られています、まちづくりと区と連携して活動していく体制ですか。

委員：

昨日、コミュニティ・スクールの事務局会議があり、その中で、稲津小学校が出来て来年150年になるということで、校長先生からお聞きして、まちづくりでも盛り上げていこうということになっています。

150年の歴史がありますので、地域のみなさんは、小学校がなくなるとは夢にも思っていないと思います。校長先生からもあと数年で1クラスになると聞いています。他人ごとではないので、できるだけ区長会やまちづくりにも話をさせていただけると有り難いと思います。

議長：

中学校の保護者としては、まちづくりや区長会と連携して、学校としては、今の少子化問題、1クラスになってしまうという中で、どのように活性化していくかという話は、PTAの中でどういった話が出ていますか。

委員：

中学校のPTA組織の活動が成り立っていません。自主的に役員になる方が無い中、強引な投票で選ばれた役員で、前向きに取り組む方はまずいない状況です。学校との連携と言われますが、親が真剣に学校の今後のことを本気で考えていないと私は思っています。

議長：

率直なご意見だとは思いますが、瑞浪南中学校も場合によっては統廃合となる場合と直面していますので、保護者の方も自分のことだと捉えていただいて、今後は何とか考えていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

中学校のPTA広報誌を拝見しましたら、統合の話も記事で出ていまして、保護者の方がどう捉えるかが問題だと思いますので、これからもそういったPRをどんどん進めていっていただきたいと思っております。

今回の小学校について、審議会の方向性として、当面複式学級による現状の7校を維持していくことにしたいと思います。

ただし、審議会が終わってもこの問題に関しては様子を見ていく必要があるため、学校運営協議会などの機会に複式学級の実際の様子を見る中で、保護者の意見、地域の意見を各学校単位で継続的にうかがっていく。それにより、複

式学級では困るという意見が多くなった場合は、再度統合を含めた見直しを、新たな審議会を立ち上げて検討すること。また、市の地域活性化、人口対策を今後も行っていくとともに、地域においても、市と連携した移住に係る取組などを検討いただくこと。の2点を附帯意見として答申に加えたいと思います。

他に、答申に盛り込みたいという意見がありますか。

委員：

予算についてもしっかりと盛り込んだ方がいいと思います。

議長：

他にご意見はありませんか。

委員：

今日で審議が終わり答申を出すのであれば、言葉だけでなく書面で確認しないといけないのではありませんか。

事務局：

第1回目の会議でスケジュールについて説明しておりますが、この審議会は来年度までの全5・6回を予定しています。最終的に小学校と中学校について合わせて答申をいただくこととなります。今回は、小学校についての方向性をまとめていただきました。来年度に、中学校についてまとめていただき、最後に答申を出していただく前には、答申書を確認いただきます。

委員：

今年度で区長が交代するため、次の方に説明しますので、もう一度お願いします。

議長：

今回の小学校について、審議会の方向性として、小学校については、当面複式学級による現状の7校を維持していくこと。ただし、審議会が終わってもこの問題に関しては様子を見ていく必要があるため、学校運営協議会などの機会に複式学級の実際の様子を見る中で、保護者の意見、地域の意見を各学校単位で継続的にうかがっていく。それにより、複式学級では困るという意見が多くなった場合は、再度統合を含めた見直しを、新たな審議会を立ち上げて検討すること。また、市の地域活性化、人口対策を今後も行っていくとともに、

地域においても、市と連携した移住に係る取組などを検討いただくこと。教育委員会として予算の確保に努めていただき、市内平等な教育がいきわたる配慮をお願いする。の3点を附帯意見として答申に加えるということで進めてまいります。

(加藤会長)

これをもちまして、第3回瑞浪市学区制審議会の議事を終了します。進行を事務局にお返しします。

(林事務局長)

有り難うございました。

それではその他としまして事務局からご説明します。

4. その他

(兼松課長)

委員の交代について

連合自治会、PTA等の団体におきましては、役員の交代等により、次年度審議会委員の交代の必要があるかと思えます。

連合自治会につきましては、4月連合自治会にて依頼させていただきます。

PTA・幼稚園保護者会についても照会させていただきます。

青年会議所についても交代があるか確認させていただきます。

(林事務局長)

本日で小学校について、一旦区切りとさせていただきます、次年度の会議において、中学校の単学級についてご検討いただきたいと思います。

次回会議は、委員が出そろってからとなりますが、5月を見込んでお願いしたいと考えております。

これにて第3回瑞浪市学区制審議会を閉じさせていただきます。